中川小 幼保小中一貫教育 「かがやきプラン」

＜幼保小中一貫教育目標＞
『自主・自立』
自ら考え、進んでやり遂げる子どもの育成

めざす子どもの姿　◇進んで学ぶ子ども
◇夢や希望を持ち、健康でたくましく生きぬく子ども
◇ふるさとを愛し、ふるさとを元気にしようとする子ども

◇児小連携・・・育てていく力
「元気なあいさつ」「自分の思いを伝え合う」「聞く力を育てる」

【児童館との交流】
☆児童と園児との交流
・いきいきわくわく学校体験
（1 年生との交流、小学校の体験授業）
・５年児童中川児童館訪問
・運動会への招待
・歌や踊りなどの児童館での発表
★小教員と保育士との連携
・児小連絡会（年５回）
・校内授業研究会の案内
・児童館保育参観（７月）
★就学時健診（10 月）
★保護者説明会（年２回）

【赤湯小との交流】
☆4 年:交流学習、交流給食（10 月）
☆5 年:交流学習、交流給食（10 月）
☆6 年:交流学習、交流給食（10 月）
☆６年体験学習（岩部山交流登山：６月）
☆児童生徒を語る会での乗り入れ授業
（5 年情報モラル、６年算数・進路学習）
★教員同士の連携、交流活動
・児童生徒を語る会（5･１１月）
・夏期研修会（７月）

【赤湯中との交流】
☆児童と生徒の交流活動
・５・６年:赤中応援クラス
マッチ参観（５月）
・５・６年:小中合同クリーン作戦(７月)
・中３生による夏季学習会サポート（７月）
・中学生による学校生活等の説明会
（１月）
☆６年:中学校体験授業（１月）
★教員同士の連携、交流活動
・児童生徒を語る会（5･１１月）
・夏期研修会（７月）
・学習会指導サポート（８月）
・小中生徒指導連絡会（１月）
・学級編成会議（３月）
・３校定例会(小中一貫教育推進委員会)

発達段階に応じた
『自力解決の力』を育む

児童館から小学校、中学校へのつながりと
なめらかな接続を意識した指導

『自主・自立』

◇小中一貫教育の重点・・・「学力の向上」「規範意識の醸成・基本的な生活習慣の確立」「コミュニケーション能力の育成」
（小中乗り入れ授業の推進、家庭学習の強化、あいさつ運動の推進、
道徳・学級活動の充実、情報モラル指導、中学校を視野に入れた小小交流や児童生徒の交流活動の推進、キャリアプランニング能力を高める取り組み）